

アンケート調査の実施について

1 目的

青梅市の地域性および特性に即した学校施設の在り方を検討する上で、市内の小中学校に通う児童・生徒およびその保護者やかつて児童・生徒であった者、地域住民から学校や教育に求める意見を聴取することを目的とする。

2 調査対象および対象者数

No.	対象区分	人数
1	小学校 6 年生の児童・保護者	約 1, 0 0 0 人（市内全校）
2	中学校 3 年生の生徒・保護者	約 1, 0 0 0 人（市内全校）
3	市内の 1 7 歳	約 1, 0 0 0 人（市内全域）
4	無作為抽出 1 8 歳以上	約 1, 0 0 0 人（無作為抽出）

3 調査対象区分選定理由

(1) 小学校 6 年生の児童・保護者

小学校の最高学年であり、児童・保護者ともに小学校生活 6 年間を総括しての意見をいただけることを想定する。

(2) 中学校 3 年生の生徒・保護者

中学校の最高学年であるとともに、小学校を合わせ、9 年間の学校生活を総括しての意見をいただけることを想定する。

(3) 市内の 1 7 歳

義務教育を終え、その後の生活において、9 年間の小中学校での生活を振り返り改めて学校生活における意見をいただけることを想定する。

(4) 無作為抽出 1 8 歳以上

児童・生徒の目線とは別に地域の目線として、学校施設に求めるものについての意見をいただけることを想定する。

4 調査方法

インターネットにおける入力フォームを作成し、チラシの配布によりアンケートの収集を実施。

5 調査期間

9 月上旬予定

6 設問案

別紙のとおり